

会計：下水道事業会計

款：資本的支出

項：建設改良費

目：公共下水道整備費

担当： 上下水道局 管理課

(ダイヤルイン:072-784-8072)

(単位:千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
水路改良事業	39,500	—	—	39,500	—	—	25,500	14,000
補助金等名称	国	—				補助率	—	
	県	—				補助率	—	
事業期間	昭和56年度(1981年度)～							
主な業務内容	水路改良事業							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	411204
基本方針/施策目標	環境適合型社会の実現							
その他計画の位置付け	伊丹市下水道ビジョン/伊丹市下水道事業経営戦略							

1 事業の目的

雨水や農業用水が流れる用排水路の機能を適切に管理するため、老朽化した樋門等の監視制御装置を更新し、市内の利水環境を保全します。

2 事業の概要

【樋門等監視制御装置更新工事】 (事業費：39,500千円)

市内の用排水路に設置されている電動樋門等の稼働状況などを把握するための監視制御装置は、平成7年の運用開始から耐用年数を超える23年経過が経過し、老朽化が進んできていることから、設備の更新を行います。

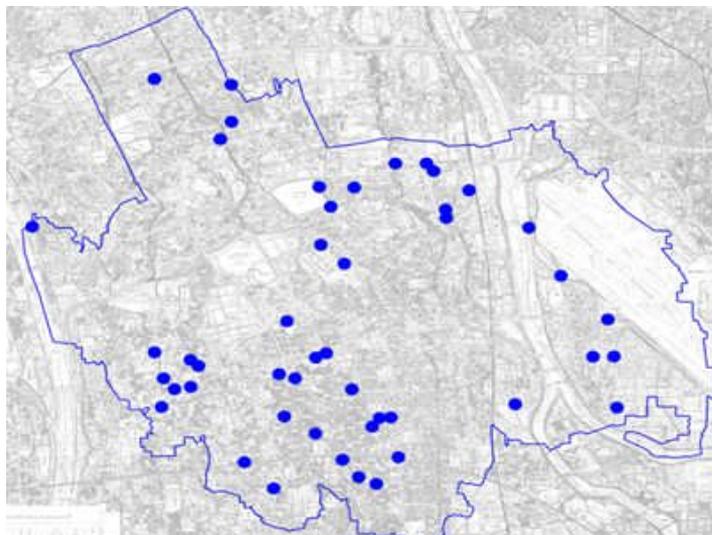


監視制御装置(上下水道局1階に設置)

情報通信



監視対象施設(電動樋門)



監視対象箇所(47箇所)

款：衛生費
項：清掃費
目：清掃総務費・塵芥処理費

担当： 生活環境課/環境クリーンセンター
(ダイヤルイン:072-781-5371/072-782-0968)

(単位:千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
小型家電及び水銀廃製品回収事業	6,130	-	-	-	-	6,130	252	5,878
補助金等名称	国	-				補助率	-	
	県	-				補助率	-	
事業期間	平成28年度(2016年度)～							
主な業務内容	市内の拠点に回収ボックスを設置し、小型家電及び水銀廃製品類を回収する							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	412104
基本方針/施策目標	環境適合型社会の実現							412114
その他計画の位置付け								412209

1 事業の目的

小型家電リサイクル法に基づき、レアメタルをはじめとした有用な資源の回収について、廃棄物の適正な処理および減量化を目的として自治体や事業者などでの取り組みが広がっています。また、「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」において、自治体としての水銀廃製品の適正な処理が求められています。

本市では、市内の各拠点に回収ボックスを設置し、小型家電および水銀廃製品類を回収します。

2 事業の概要

【1】小型家電リサイクル等収集事業の拡充 1,018千円

平成28年11月から市役所本庁舎等において、回収ボックスを設置して取り組んでいますが、さらに広く市民が排出しやすい環境を確保し、リサイクルを推進するため、市内の支所分室等に回収ボックスを増設します。



【2】水銀廃製品等の適正処理事業 1,150千円

環境省の「家庭から排出される水銀使用廃製品の分別回収ガイドライン」に基づき、市内の支所分室等に回収ボックスを設置し、水銀廃製品類（水銀体温計・血圧計、乾電池類、蛍光管等）を回収します。



【3】ごみの分別啓発事業 3,962千円

上記の変更点を市民に周知することや最新の情報を掲載するため、内容をリニューアルしたパンフレットを作製し市内全戸に配布します。

近年、豊中伊丹スリーR・センターで、充電式電池が原因となる火災が増大していることから、小型家電や水銀廃製品類の分別回収により火災の防止にも努めます。



款：衛生費
項：清掃費
目：清掃総務費

担当： 生活環境課

(ダイヤルイン:072-781-5371)

(単位:千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
資源物持ち去り禁止条例 制定検討事業	511	—	—	—	—	511	—	511
補助金等名称	国	—				補助率	—	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成30年度 (2018年度)							
主な業務内容	資源となる廃棄物の持ち去り防止のための制度化について検討							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	412115
基本方針/施策目標	環境適合型社会の実現							
その他計画の位置付け	一般廃棄物処理基本計画							

1 事業の目的

安全・安心な生活環境の保全、公衆衛生の向上及び排出された廃棄物の適正処理を図るため、市や市から収集または運搬の委託を受けた事業者、再生資源集団回収登録業者以外のものが、所定の集積所等から資源化対象物を無断で持ち去る行為を罰則等によって対処することを視野に、持ち去り行為を禁止する条例の制定について検討します。

2 事業の概要

持ち去り行為を禁止する条例の制定について、伊丹市廃棄物減量等推進審議会規則に基づき同審議会に諮問を行い、近隣他市の状況等も踏まえてその効果の度合いを考察し、条例制定の可否及び条例(案)について答申を得たうえで、実施について検討を行います。

○必要経費(廃棄物減量等推進審議会関係)

・委員報酬(15名分)	485 千円
・旅費 他	26 千円
計	511 千円

◇審議会のスケジュール◇

時 期	内 容
(第1回) 平成30年6月 (2018年)	・審議会への諮問、条例策定の検討に至った経緯説明 等 ・条例策定における論点の整理 ・阪神間近隣他市の条例施行状況等の説明 等
(第2回) 8月	・条例(素案)についての審議 禁止対象物の範囲・罰則規定の設定 等
(第3回) 11月	・条例の策定について(答申)について 等

自治会の管理所有物です。持ち去り厳禁！

この場所にあるアルミ缶をはじめ、古紙などは自治会が管理する所有物です。

自治会の財産であるこれら資源物を持ち去ることは犯罪です。発見した場合は直ちに警察に通報します。

〇〇自治会 伊丹市 伊丹警察署



款：衛生費
項：保健衛生費
目：環境衛生費

担当： 生活環境課

(ダイヤルイン:072-781-5371)

(単位:千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
地域猫活動支援事業 (野良猫衛生対策事業)	2,339	—	—	—	2,339	—	1,949	390
補助金等名称	国	—			補助率	—		
	県	—			補助率	—		
事業期間	平成27年度(2015年度)～							
主な業務内容	野良猫衛生対策補助制度の実施により不妊去勢手術を実施する							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	413209
基本方針/施策目標	環境適合型社会の実現							
その他計画の位置付け	環境基本計画							

1 事業の目的

市内の野良猫及び地域猫の不妊手術又は去勢手術費用の一部を助成することにより、野良猫及び地域猫の繁殖を抑制し、野良猫による衛生問題を解決するとともに、地域猫活動を推進し、良好な生活環境を保持するため「野良猫衛生対策事業補助金」を実施するものです。

2 事業の概要

不妊・去勢手術予算については、昨年度のNPO団体の手術実施匹数を参考に予算化し、制度利用のため受講を義務付けている講習会参加者数・手術実績の経過等を踏まえ500匹分の手術助成を行うものです。

補助金の助成金額単価

野良猫 (メス)	5,000円	(オス)	3,000円
地域猫 (メス)	7,000円	(オス)	4,000円

○野良猫衛生対策事業補助金	2,075千円	(野良猫450匹・地域猫50匹分)
○地域猫相談業務委託料	199千円	委託先：NPOみゆうみゆう
○地域猫看板作成委託	65千円	「地域猫実施中」周知用
合計	2,339千円	



地域猫活動啓発看板



不妊・去勢済の猫



補助金利用のガイドブック



地域猫活動用トイレ



講習会の様子

款：土木費
項：都市計画費
目：公園緑地費

担当： みどり自然課

(ダイヤルイン:072-780-3521)

(単位:千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
みどりの基本計画の策定	4,128	—	—	—	—	4,128	300	3,828
補助金等名称	国	—				補助率	—	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成22年度(2010年度)～							
主な業務内容	みどりの基本計画及び生物多様性いたみ戦略改定のための基礎調査							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	421101
基本方針/施策目標	水と緑の豊かな自然環境の創出と再生							
その他計画の位置付け								

1 事業の目的

伊丹市みどりの基本計画の改定に合わせて、生物多様性いたみ戦略の改定も行い、両計画を統合した新たな計画の策定を進めます。計画策定に向けて、伊丹市環境審議会みどり環境部会での審議を進めるとともに、必要な調査を実施します。新計画については、第6次総合計画や伊丹市環境基本計画(3次)等上位計画への反映を図り、2021年(平成33年)の同時スタートを目指します。

2 事業の概要

平成30年度(2018年度)はみどり率調査及び平成29年度(2017年度)から市民調査グループで実施している植物リスト改訂調査を継続して実施します。

●みどり率調査：既存の航空写真等を解析し、市域面積に占めるみどり(樹木・樹林地、低木地、草地、農地、裸地、水面、水辺の草地)の割合等を測定する調査です。

●植物リスト改訂調査：生物多様性いたみ戦略(平成26年3月策定)では、文献より1,314種の植物をリストアップしていますが、既に絶滅している種もあり、現地調査を行うことで植物リストの改訂を行います。専門家の指導の下、伊丹生きものマイスター講座修了者有志の協力を得ながら、市民参加での調査を継続して進めます。

3 事業費

みどり率調査	4,028千円
植物リスト改訂調査	100千円
計	4,128千円

伊丹市みどりの基本計画及び生物多様性いたみ戦略 改定スケジュール(案)

	平成30年(2018)年度	平成31年(2019)年度	2020年(平成32)年度	2021年(平成33)年度
計画	伊丹市みどりの基本計画2011(2011年度～2020年度)			
	生物多様性いたみ戦略(2014年度～2020年度)			
	新計画スタート			
審議会	● 環境審議会 ● みどり環境部会 ■ ■		● ■	● ■ ■
調査	植物リスト改訂調査 みどり率調査		● 現況植生図作成調査	● 生物(動物)リスト改訂調査

款：土木費
項：都市計画課
目：公園緑地費

担当： 公園課

(ダイヤルイン： 072-784-8134)

(単位：千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
公園緑地等の整備	131,606	30,000	—	54,800	31,324	15,482	—	—
補助金等名称	国	社会資本整備総合交付金				補助率	1/2	
	その他	大阪国際空港周辺環境整備事業				補助率	80%	
事業期間	平成30年度 (2018年度)							
主な業務内容	老朽化した公園施設の更新							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	421104
基本方針/施策目標	水と緑の豊かな自然環境の創出と再生							
その他計画の位置付け	伊丹市みどりの基本計画2011							

1 事業の目的

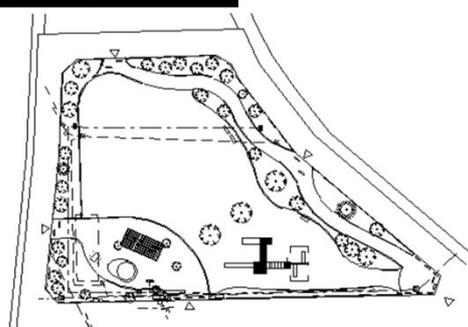
- 【玉田公園外3公園再整備工事等】 【政木公園整備工事】
老朽化した公園施設の更新及び土砂災害防止法に係る調査を実施します。
- 【北寺本児童遊園地撤去工事】 【東桑津(Ⅱ)児童遊園地撤去工事】
借地している児童遊園地施設を撤去し、土地所有者に返還します。
- 【公園遊具点検委託料】 遊具点検を実施します。

2 事業の概要

- 【玉田公園外3公園再整備工事等】 85,169千円
玉田公園(11,000千円)、西善寺公園(33,160千円)、平田公園(13,840千円)、西野上川原公園(22,000千円)の遊具更新・フェンス改修等を行います。
伊丹緑地で土砂災害防止法に係る対策のための調査を実施します。(5,169千円)
- 【政木公園整備工事】 27,076千円
政木公園の遊具更新、フェンス改修等を行います。
- 【北寺本児童遊園地撤去工事】 7,689千円
土地所有者からの返還申し出により、北寺本児童遊園地内の遊具等を撤去し、返還します。
- 【東桑津(Ⅱ)児童遊園地撤去工事】 3,822千円
「大阪国際空港周辺のまちづくり計画」に基づき、東桑津(Ⅱ)児童遊園地内の施設撤去を行います。
- 【公園遊具点検委託料】 7,850千円
改正都市公園法に基づき市内全域の都市公園・児童遊園地の遊具点検を実施します。



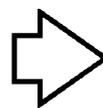
西野上川原公園平面



西野上川原公園現況写真



完成イメージ



款：土木費
項：都市計画費
目：都市計画総務費

担当： 住宅政策課

(ダイヤルイン:072-784-8069)

(単位:千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
転入促進事業	15,000	—	—	—	—	15,000	15,000	—
補助金等名称	国	—				補助率	—	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成28年度(2016年度)～							
主な業務内容	親が市内に居住している満40歳未満の世帯が市内に転入するための費用補助							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	431312
基本方針/施策目標	良質な都市空間の整備							
その他計画の位置付け	伊丹創生総合戦略							

1 事業の目的

親元に同居又は近居するために伊丹市に転入した子世帯に対し、転入にかかる費用等を支援することにより、子育てや介護等の共助を推進、人口流入と定住化の促進を図ります。

2 事業の概要

【補助対象経費】

住宅の新築・購入費用、賃貸借契約にかかる費用、引越費用、同居にかかるリフォーム工事費用、既存建物の除却費用

【補助対象者】

次の要件を全て満たす世帯

- ①2世代：子世帯が満40歳未満の夫婦であること。
3世代：子世帯が満40歳未満の夫婦、孫が義務教育修了前の者(出産予定の子どもを含む。)
- ②子世帯が市外から転入・住民登録をしていること。
転入する直前に1年以上継続して市外に居住・住民登録をしていたこと、また3年以上継続して補助対象住宅に居住する見込みであること。
- ③親世帯が1年以上継続して伊丹市に居住・住民登録をしていること。
- ④子世帯・親世帯が市税を滞納していないこと。
- ⑤子世帯もしくは親世帯のいずれかが補助対象経費を負担していること。

補助上限額

		住宅取得補助	賃貸住宅入居補助	除却費用加算※
3世代 親・子・孫	同居	250千円	150千円	250千円
	近居	200千円	100千円	
2世代 親・子	同居	200千円	100千円	
	近居	150千円	50千円	

※除却費用加算・・・本事業に関連して、本市内にある住宅を除却し新築した補助対象住宅の場合に限る。
注)本事業は補助執行総額が予算額を超えない範囲で実施します。

3 事業費

■転入促進事業補助金	13,750千円
■消耗品費	158千円
■印刷製本費	120千円
■広告料	972千円
計	15,000千円



款：土木費
項：都市計画費
目：都市計画総務費

担当： 建築指導課

(ダイヤルイン：072-784-8065)

(単位：千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
空家等除却支援事業	2,664	1,332	666	—	—	666	2,664	—
補助金等名称	国	社会資本整備総合交付金				補助率	1/2	
	県	老朽危険空き家除却支援事業補助金				補助率	1/4	
事業期間	平成28年度(2016年度)～							
主な業務内容	危険な状態にある空き家を除却するための費用補助							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	431410
基本方針/施策目標	良質な都市空間の整備							
その他計画の位置付け	伊丹創生総合戦略							

1 事業の目的

空家等対策の推進に関する特別措置法第2条に規定された空家等(※1)のうち、特定空家等(※2)に認定され、住宅地区改良法に基づく不良度判定において、評点が100点以上となる不良住宅(※3)に対して、除却費用を一部補助することにより、危険な状態にある住宅を減らし、居住環境の整備改善及び地域の活性化を図ることを目的としています。

- ※1 「空家等」とは、建築物又はこれに附属する工作物であつて居住その他の使用がなされていないことが常態であるもの及びその敷地
- ※2 「特定空家等」とは、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態等にあると認められる空家等
- ※3 「不良住宅」とは、主として居住の用に供される住宅で、その構造又は設備が著しく不良であるため居住の用に供することが著しく不適当なもの

2 事業の概要

【空家等除却補助制度】 2,664千円

・補助内容

国の空き家再生等推進事業及び兵庫県の老朽危険空き家除却支援事業を活用し、不良住宅の所有者(事業者を除く)に対して、国・県・市合わせて最大1,332千円の補助を行います。

・対象者

不良住宅の所有者

・補助率・補助額

対象経費の2/3、上限1,332千円

・対象経費

対象となった住宅の除却工事の実施に要する経費

・予定戸数

2戸/年



除却前(室内写真)



除却後(敷地写真)

款：土木費
項：都市計画費
目：街路事業費

担当： 道路建設課

(ダイヤルイン：072-784-8060)

(単位：千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
街路事業 (都市計画道路整備)	31,000	12,100	—	8,900	—	10,000	400	30,600
補助金等名称	国	防災・安全交付金				補助率	5.5/10	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成29年度(2017年度)～							
主な業務内容	都市計画道路の整備							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	433202
基本方針/施策目標	良質な都市空間の整備							
その他計画の位置付け	都市計画マスタープラン、伊丹市総合交通計画、都市計画道路整備プログラム、地域防災計画							

1 事業の目的

市内の交通の円滑化や災害時における防災機能の強化及び自転車・歩行者の安全性を確保し、安全・安心で快適なまちづくりに寄与します。

2 事業の概要

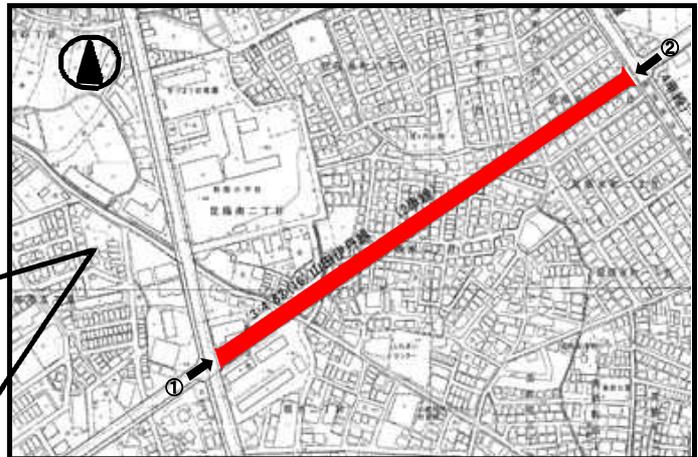
【山田伊丹線】(継続) 31,000千円
延長530m 幅員16m

事業名：(都)山田伊丹線整備事業

都市計画道路整備プログラムの前期4カ年(平成27年度～平成30年度)に事業着手が位置づけられた都市計画道路の事業。

内容

平成30年度(2018年度)は、事前評価業務及び詳細設計業務を実施します。
また、当該工区の西側では、道路予定地管理工事(除草等)を実施します。



①



東向き

②



西向き

款：土木費
項：道路橋りょう費
目：道路新設改良費

担当： 道路建設課

(ダイヤル：072-784-8060)

(単位：千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
道路新設改良事業 (生活道路の整備)	45,630	16,500	—	26,100	—	3,030	76,035	△30,405
補助金等名称	国	防災・安全交付金				補助率	5.5/10	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成28年度(2016年度)～							
主な業務内容	生活道路の整備(狭あい道路、その他の道路)							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	433306
基本方針/施策目標	良質な都市空間の整備							
その他計画の位置付け	都市計画マスタープラン、伊丹市中心市街地活性化基本計画							

1 事業の目的

生活に密着した道路の拡幅、狭あい道路(建築後退用地)の整備を実施することにより、防災対策を含めた安全で安心な道路を整備します。

2 事業の概要

【宮ノ前4085号線】(継続) 30,400千円
延長70m 幅員10m

内容

中心市街地活性化基本計画に基づき、延長150mのうち70mの工事を実施します。

平成29年度～2020年(平成32年)度
(電線共同溝・中心市街地活性化)

景観・バリアフリー・防災の観点から、電線類を地中化し、ひと中心の安心・安全・快適な歩行空間と自転車通行空間の創出を行い、街並み景観と商業機能と連携したグレードの高い多様な都市空間の魅力を創出します。



【春日丘4059号線】(新規) 5,230千円
延長50m 幅員3.2m

(交差点改良)

内容

ボトルネックとなっている箇所について、側溝を移設し、現状2.3mの道路幅員を3.2mに拡幅する工事を実施します。



【狭あい道路整備】 10,000千円

建築後退に伴う道路用地の整備・改善を行い、防災面や交通面での安全を確保します。

款：土木費
項：道路橋りょう費
目：道路維持費

担当： 道路保全課

(ダイヤルイン： 072-784-8058)

(単位：千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
道路維持補修事業	66,997	20,038	—	42,000	—	4,959	149,955	△82,958
補助金等名称	国	防災・安全交付金				補助率	5/10	
	県	—				補助率	—	
事業期間								
主な業務内容	良好で安全な道路を維持するため、舗装など道路施設の改修工事を行う							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	433307
基本方針/施策目標	良質な都市空間の整備							
その他計画の位置付け								

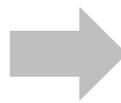
1 事業の目的

道路の計画的な維持補修を行い、良好な道路環境の維持・確保を図ります。

2 事業の概要

(1) 舗装補修 市道緑ヶ丘中央線ほか17路線 延長 1,634 m 54,177千円
路面性状調査及び道路パトロールの結果に基づき、舗装の損傷が大きい路線について舗装補修工事を行います。

○整備イメージ



(2) トンネル補修工事

定期点検により補修が必要となった荒牧トンネルの補修工事を行います。

10,000千円



(3) 街路樹補植

市道寺本山山田5437号線ほか2路線 2,820千円
良好な景観とみどりで潤いのある道路に寄与するため、街路樹の補植を行います。

款：土木費
項：道路橋りょう費
目：道路維持費

担当： 道路保全課

(ダイヤルイン： 072-784-8058)

(単位：千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
道路安全対策事業	42,092	—	—	33,000	—	9,092	76,500	△34,408
補助金等名称	国	—				補助率	—	
	県	—				補助率	—	
事業期間								
主な業務内容	防護柵の整備や安全標識の設置により、歩行者や自転車の安全確保を行う							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	433308
基本方針/施策目標	良質な都市空間の整備							
その他計画の位置付け								

1 事業の目的

道路施設の安全対策を行うことにより、市民一人ひとりが安全で快適に通行できる道路空間を確保します。

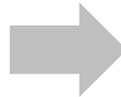
2 事業の概要

(1) 防護柵新設・更新 市道梅ノ木6074号線ほか 延長 1,480 m 42,092千円
老朽化による腐食等により損傷が見られる防護柵の更新や、歩行者等の安全確保のため、防護柵の新設を行います。

○防護柵新設整備イメージ



整備前



整備後

○防護柵更新整備イメージ



整備前



整備後

款：土木費
項：道路橋りょう費
目：橋りょう維持費

担当： 道路保全課

(ダイヤルイン： 072-784-8058)

(単位：千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
橋りょう維持補修事業	297,000	161,700	—	117,200	9,000	9,100	188,800	108,200
補助金等名称	国	防災・安全交付金				補助率	5.5/10	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成24年度(2012年度)～							
主な業務内容	兵庫県伊丹市道路橋長寿命化修繕計画に基づき、計画的な点検・修繕に取り組む							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	433312
基本方針/施策目標	良質な都市空間の整備							
その他計画の位置付け	兵庫県伊丹市道路橋長寿命化修繕計画							

1 事業の目的

兵庫県伊丹市道路橋長寿命化修繕計画に基づき計画的な点検・修繕を行い、橋りょうの安全性・信頼性を確保するとともに、維持管理費用の平準化及びコスト削減を図ります。

2 事業の概要

(1) 橋りょう維持補修

287,000千円

兵庫県伊丹市道路橋長寿命化修繕計画に基づき計画的な橋りょう修繕を実施するとともに、耐震化事業を実施し、安心・安全な通行空間を確保します。

- ・補修設計 武庫川新橋ほか20橋(内 補修・耐震設計 8橋)
- ・補修工事 西野橋ほか36橋(内 補修・耐震工事 5橋)

(2) 橋梁長寿命化計画見直し

10,000千円

道路法施行規則第四条の五の五に基づき、5年に1回、近接目視による橋りょう点検を実施した結果を基に兵庫県伊丹市道路橋長寿命化修繕計画の見直しを行い、継続的な長寿命化によるコスト削減を計ります。

- ・橋梁 414橋
- ・立体横断施設 9橋
- ・大型カルバート 1箇所
- ・トンネル 1箇所

○補修イメージ



ひび割れ補修状況

○耐震化イメージ



橋脚補強工事

款：土木費
項：道路橋りょう費
目：道路維持費

担当： 道路保全課

(ダイヤルイン： 072-784-8058)

(単位：千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
自転車レーン等整備事業	144,010	62,819	—	73,000	—	8,191	17,000	127,010
補助金等名称	国	防災・安全交付金				補助率	5.5/10	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成25年度(2013年度)～							
主な業務内容	歩行者と自転車双方の安全性を確保するため、自転車レーン等の整備を行う							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	433313
基本方針/施策目標	良質な都市空間の整備							
その他計画の位置付け	伊丹市自転車ネットワーク計画							

1 事業の目的

安全で快適な自転車利用環境を創出する為、自転車レーン等の整備を推進します。

2 事業の概要

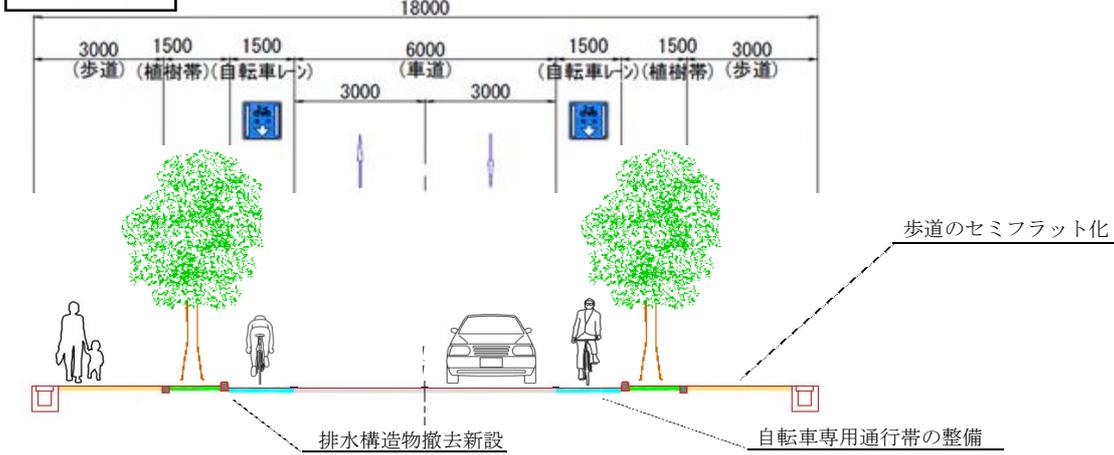
伊丹市自転車ネットワーク計画に基づき、整備済路線との連続性を考慮した自転車レーンや歩道のセミフラット化等の整備を行います。

- ・市道昆陽車塚線 延長 470 m 144,010千円

位置図



横断図



款：総務費
項：総務管理費
目：都市安全対策費

担当： 都市安全企画課
(ダイヤルイン:072-784-8055)

(単位:千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
放置禁止区域 啓発看板更新	8,878	—	—	—	—	8,878	—	8,878
補助金等名称	国	—				補助率	—	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成30年度 (2018年度)							
主な業務内容	自転車等放置禁止区域啓発看板の更新							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち					事務事業 コード (6桁)	433405	
基本方針/施策目標	良質な都市空間の整備							
その他計画の位置付け	—							

1 事業の目的

劣化した自転車等放置禁止区域啓発看板を更新することで、禁止区域の周知を図り、更なる放置自転車等台数の減少を目指します。

2 事業の概要

現在、市内主要5駅（阪急伊丹、阪急新伊丹、阪急稲野、JR伊丹、JR北伊丹）周辺に設置している看板は、経年劣化に伴う文字等の退色により、市民への正確な情報提供が難しい状況となっています。看板の更新にあたっては、放置発生箇所を中心に更新し、まちの美観を損なわないよう配慮します。また、多言語化を実施するなど、誰にでも分かりやすい記載内容への見直しを行います。

3 事業費

筆耕翻訳料 17千円(英語・中国語・韓国語)
 工事請負費 8,861千円(看板取替・外枠再塗装・既設看板撤去処分等)
 合計 8,878千円

更新箇所数

【更新前】

エリア	箇所数
JR伊丹駅周辺	8箇所
JR北伊丹駅周辺	2箇所
阪急新伊丹駅周辺	6箇所
阪急稲野駅周辺	5箇所
阪急伊丹駅周辺	44箇所
計	65箇所



【更新後】

エリア	箇所数
JR伊丹駅周辺	7箇所
JR北伊丹駅周辺	2箇所
阪急新伊丹駅周辺	6箇所
阪急稲野駅周辺	5箇所
阪急伊丹駅周辺	11箇所
計	31箇所

更新イメージ

【更新前】



【更新後(案)】



多言語化(英語案)

自転車等放置禁止区域

NO BICYCLE OR MOTORCYCLE PARKING IN THIS AREA

※ 英語と併せて、韓国語・中国語についても記載します。

款：総務費
項：総務管理費
目：都市安全対策費

担当： 都市安全企画課
(ダイヤルイン:072-784-8055)

(単位:千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
放置自転車啓発指導事業 (地域との協働)	1,680	-	-	-	-	1,680	1,680	-
補助金等名称	国	—				補助率	—	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成28年(2016年)度～							
主な業務内容	阪急伊丹駅周辺における駐輪啓発指導							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	433405
基本方針/施策目標	良質な都市空間の整備							
その他計画の位置付け	伊丹市自転車の適正利用計画							

1 事業の目的

阪急伊丹駅周辺の放置自転車の状況は、以前に比べ大幅に改善されたものの、特定のポイントについては、未だに自転車利用者の放置が見られます。
地域との協働により市民力を活用することで、更なる放置自転車の減少を目指します。

2 事業の概要

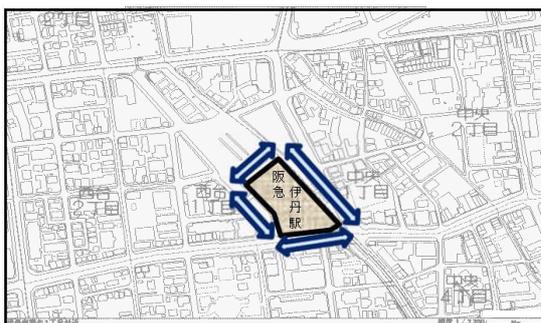
平成28年(2016年)度より地域団体(伊丹小学校地区自治協議会)の協力を得て、阪急伊丹駅周辺における駐輪啓発指導を公募型協働事業として開始しました。その結果、業務対象エリアについては放置自転車が減少しました。
平成30年(2018年)度においては、対象エリアを拡大し、引き続きシルバー人材センターによる駐輪啓発と併せ、地域の状況を細やかに把握している地域団体による啓発活動により、更なる放置自転車の減少に取り組みます。

3 事業費

委託料 1,680千円(事業対象エリアにおける口頭での啓発指導・注意札貼付等)

【現行の事業対象エリア】

【平成30年度以降の事業対象予定エリア】
(2018年)



【シルバー人材センターによる指導】



【地域団体による啓発指導】

款：総務費
項：総務管理費
目：都市安全対策費

担当： 交通政策課

(ダイヤルイン:072-784-8052)

(単位:千円)

事業名	本年度 (A)	財源内訳					前年度 (B)	比較 (A)-(B)
		国	県	起債	その他	一般財源		
地域通貨制度事業	4,763	—	—	—	—	4,763	2,758	2,005
補助金等名称	国	—				補助率	—	
	県	—				補助率	—	
事業期間	平成27年度(2015年度)～							
主な業務内容	市営自転車駐車場における地域通貨の発行							
基本目標/政策目標	環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち						事務事業 コード (6桁)	433406
基本方針/施策目標	良質な都市空間の整備							
その他計画の位置付け	伊丹創生総合戦略/伊丹市総合交通計画							

1 事業の目的

市営自転車駐車場の利用に対し、市内加盟店舗で使える地域通貨(いたみんポイント)を発行することで、自発的な自転車駐車場の利用を促進し、放置自転車の減少と地域経済の活性化の両立を図ります。

2 事業の概要

より多くの方に自発的に市営自転車駐車場を利用していただけるよう、平成30年(2018年)4月から、市営自転車駐車場におけるいたみんポイントの発行対象等を拡大します。
また、今回の改定にあわせ、毎月20日に実施していましたポイントアップデートは廃止します。

(旧発行基準)

区分	無料			有料		
	一時利用	一時利用	定期利用	一時利用	一時利用	定期利用
自転車	×	利用料金の10%	利用料金の1%			
原動機付自転車	×	×	×			
自動二輪車	125cc以下	×	×	×		
	125cc超		×	×		

(新発行基準)

区分	無料			有料		
	一時利用	一時利用	定期利用	一時利用	一時利用	定期利用
自転車						
原動機付自転車						
自動二輪車	125cc以下					
	125cc超					

利用する度に
10ポイント

※自転車有料一時利用者への発行ポイントは、旧発行基準から変更はありません。
※利用回数や時間帯によってはポイントが発行できない場合があります。
※昆陽里自転車駐車場は、ポイント発行の対象ではありません。

改定内容のポイント

(1)いたみんポイントの発行対象を拡大

- ①(旧)自転車の利用者のみ →(新)原動機付自転車・自動二輪車の利用者も対象
- ②(旧)有料の利用者のみ →(新)無料の利用者も対象

(2)発行するいたみんポイントを一律10ポイントに統一

(旧)定期利用料金の1%のポイント →(新)1回の利用につき10ポイント

3 事業費内訳

- ・消耗品費 97千円
- ・OA機器使用料 648千円
- ・地域通貨制度運営負担金 648千円
- ・地域通貨発行負担金 3,370千円

利用できるカードの例→



いろいろなお店で、1ポイント=1円として、支払いに使えるから、とってもお得!

伊丹市マスコット たみまる

いたぽを10ポイントもらえるから市営自転車駐車場にとめよう!!

